

事業実績報告書

様式2
(2018年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-27	講座名	ごきそテクノカフェ
記載日	2018.09.22	団体名・企業名	名古屋工業大学 ごきそ技術士会
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>本講座の講師は、名古屋工業大学の教員やごきそ技術士会の多分野の専門家で、自らのライフワークとして講演を試みます。現在の高度な技術社会ができあがってきた、つい最近の経過を振り返りつつ、今話題になっているテクノロジーのホットな議論に分け入って話題提供します。そして、結果としてモノを利用する人と創る人の間のリスクコミュニケーションにより、分野ごとのリスク共有を図り、連続講座によりなごやの安全・安心を見通します。</p>			
〈写真添付スペース(1~2点)〉			
			
<p>樹木年輪を用いた研究(年輪年代学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アリゾナ大学(アメリカ合衆国)で約100年前に創始される。 ・乾燥・寒冷地域など、気候条件の厳しい地域で研究が進む。 		<p>2018.9.15 技術士・犬丸晋氏による「マグネシウムの話」(講師都合で内容を変更して実施しました)</p>	
※写真1の説明		※写真2の説明	
2018.4.21 名工大/庄建二郎 準教授の講座「樹木の年輪から読みとる気候と災害の歴史」		2018.9.15 技術士・犬丸晋氏による「マグネシウムの話」(講師都合で内容を変更して実施しました)	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>遠方に在住の講師に、交通費の一部補助をいただき実現しましたこと、今期は受講者充足率を88%まで上昇することができたこと、新規受講者の講座参加で後半の議論が盛りあがる機会が増えたこと、そして、常連受講者の増加で講座開催が少し安定化傾向にあり、同時に講師登壇希望者も増えており、開催してよかったと感じている。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> ・災害と年輪の関係を知りたくて参加した。よくわかってよかった。 ・少人数で本格的な研究成果の話が聞けて貴重な体験となった。 ・とても興味深い内容で、講演後の意見交換も楽しかった。 ・真夏の午後に、涼しい喫茶店内で、興味深い話が聞けてよかった。 ・港の話、帆船から現代までの船の歴史を興味深く聞いた。 ・港湾のデータを基にした話の組立を聴くのは初めてで面白かった。 ・海岸の専門家からの質問を聴けて面白かった。 			